

金井重要工業 株式会社

繊維機械部品・不織布製品において、 130年の伝統が新たな革新を創造する



企業の特徴・強み

繊維機器事業部では創業1894年以来、日本で初めて国産化に成功した、糸を作る工程で使用されるトラベラをはじめとして、フリースやカシミアの表面加工に使用される針布など、繊維機械で使用される部品の製造・販売を行っております。この分野においては、国内シェア100%です。また売上80%を海外に輸出する、世界的なトップブランドのメーカーです。

不織布事業部は、65年の歴史を持つ不織布製造国内先発4社のうちの1社で、ビル空調のフィルタや自動車内装材、家庭用から工業用までの各種研磨資材などに代表される老舗素材メーカーとして、様々な業界への製品供給を行っております。新しい用途展開を開発することで、多岐にわたって事業拡大の可能性が広がるビジネスモデルです。



オンリーワン認定製品・技術について



繊維機器事業では、蓄積された技術とノウハウで、数千もの品種構成から様々な用途に合わせた最適な形状の製品をご提案しています。これにより、お客様にご満足いただき、支持される製品の供給に繋がっています。さらに繊維関連のみならず、自動車のタイヤに使用されるタイヤコード、パソコン等の基盤に無くてはならないグラスファイバーなど、非繊維分野の市場においても成長を見込むことができます。

不織布事業では厚みのある不織布の製造と、ダイヤモンドやホタテの貝殻を付ける「担持」という技術が特長です。家庭用のスポンジタワシのように、カラフルな色付けができることも当社の強みです。形状や用途を選ばない不織布で、厚さも硬さも思いのままに、用途に応じたフレキシブルな対応が可能です。

さらに、2014年に新設した技術革新室では、新製品開発のスペシャリストが、これまでの当社の歴史で磨き上げてきたコア技術をもとに、産官学連携を活用して医療分野などの新規分野への進出を行っています。



最新トピックス・アピールポイント

新たに医療分野に参入

がん治療には腫瘍切除・化学療法・放射線治療といった選択肢があり、患者は体に負担の少ない放射線治療を選ばれる傾向があります。放射線治療は、放射線を照射し、がん細胞を死滅させる治療法ですが、強く照射し過ぎると正常組織に悪影響を及ぼすリスクがあります。

この治療の際に、当社が開発に携わった不織布スペーサを腫瘍と正常組織の間に挿入することで、腫瘍に十分な放射線量を照射できます。さらに不織布スペーサは術後、徐々に体内で分解しますので、抜き取る手術も不要となっています。

COMPANY PROFILE

当社は1894年に兵庫県尼崎市で創業した、糸を作る繊維機械で使用される基幹部品と、空調関連製品・自動車内装材・炭素繊維製品・半導体用研磨材等の不織布製品を製造・販売する企業です。

当社は2024年に創業130年を迎えます。繊維機械部品製造で創業後、不織布製品、金属ワイヤから旅館業まで、国内5拠点、海外3拠点を展開し、「不易流行」の理念で時代の変化に対応し企業価値を創造してきました。これからも、積み重ねた伝統と信用と革新を礎とし、次世代を担う医療・農業・航空機などの幅広い分野で社会の発展に貢献していきます。

DATA



所在地	伊丹市奥畑4-1 (本店)
従業員数	243名
資本金	4億6,700万円
設立	1943年5月
代表者	代表取締役社長 金井 宏彰